

# こうざえもんつうしん 講左衛門通信

平成27年10月25日

第55号

発行 天台宗忍草山東円寺

〒401-0511

南都留郡忍野村忍草38

☎ 0555-84-4114

『今日は、24日から開催されている山梨県立博物館開館10周年記念特別展「富士山—信仰と芸術—」についての話をしようと思っておるぞ。特別展に先立ち、23日には、開館10周年記念式典と特別展のセレモニーがあつてな、山梨県立博物館が開館するまでのあゆみと、これまでの取り組みを聞くことができたんじゃよ。感慨深い内容であつた。』



クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

口癖 でまっすん..

『山梨県は、国中（甲府方面）と、郡内（上野原・大月・都留方面・富士五湖地域）と分かれていて、甲府方面で行事があつても、どこか遠い場所の出来事のように思ってしまうでまっすん。』

『そうなんじゃよ。式典には、東円寺の古文書や仏像、埋蔵文化財などを調査して下さった方々と数年ぶりに会うことができ、とても懐かしかったんじゃよ。そこで、このような話をしておつたぞ。富士山が世界文化遺産に登録されたが、甲府方面の人にとって遠いところの話に思えたそうじゃ。しかし、特別展を見た後は、富士山を身近に感じるとな。富士山は山梨県の宝なんだと実感したそうじゃよ。わしも、博物館が開館するまでのあゆみを聞き、山梨県の学びと考えを育てる場所となるよう、長い歳月をかけて作られたことを知ると、山梨県内の多くの人が博物館を利用しなくては、勿体ないと思つたぞ。さて、肝心なのは特別展の話じゃな。』

『そうでまっすん。静岡県立美術館とは、違った展示になっているでまっすん？』

『そうなんじゃ。博物館の館長さんが話しておつたが、まず、博物館と美術館では展示の仕方が大きく違うんじゃよ。所蔵しているものも違うと言うことは、何を所蔵するかという定義が違うんじゃろうな。静岡県立美術館の展示スペースは天井も高く広がつたんじゃ。その広さがゆったりとした雰囲気の良い感じだつたんじゃよ。静岡県立美術館の話では、山梨県立博物館は、展示するケースの奥行きが少し狭く天井などが低いんじゃが、「作品を間近で見ることができてお得だ」と言つていたぞ。富士参詣曼荼羅図などは、本当に細かく描かれてるんじゃよ。』

『富士参詣曼荼羅図は、国の重要文化財で本物を見ることはなかなかできないでまっすん。見に行かなくては勿体ないでまっすん。』

『見に行くと、富士山は太古から日本人の憧れであり、心から愛されていることが分かるんじゃ。それが、信仰となり芸術を生み育てたことを身近に感じることができるぞ。山梨・静岡両県のお宝じゃ。さて、今回は、今回話することができなかった東円寺のお会式について話す予定じゃ。寺院によって、様々な行事があるんじゃが、他の寺院の様子を知ることによって、個々の菩提寺が身近になるといいんじゃがな。』



「富士山—信仰と芸術—」 山梨県立博物館

平成27年10月24日（土）～11月30日（月）

休館日 毎週火曜日（11月3日は開館）11月4日（水）

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳

職業 大我講の先達

（先達とは案内責任者）

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定